

乳児死亡ゼロ 初達成から50年

昭和37年、旧沢内村が全国初の乳児死亡ゼロの金字塔を樹立してから今年で50周年を迎えました。31年の乳児死亡率（千人対比）は69（少数点以下略）で全国40を大きく上回る全国最悪の高さでした。それが32年深澤村長就任と同時にスタートした生命行政で34年26に激減、36年乳児の医療費無料化も功を奏して37年ついに死亡率ゼロを達成したのです。

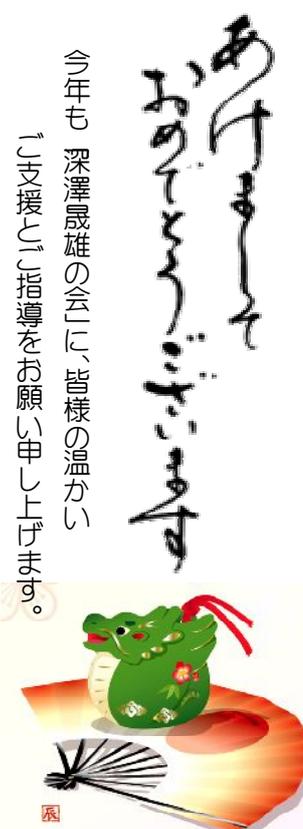
昭和37年、旧沢内村が全国初の乳児死亡ゼロの金字塔を樹立して今年で50周年を迎えました。31年の乳児死亡率（千人対比）は69（少数点以下略）で全国40を大きく上回る全国最悪の高さでした。それが32年深澤村長就任と同時にスタートした生命行政で34年26に激減、36年乳児の医療費無料化も功を奏して37年ついに死亡率ゼロを達成したのです。

この半世紀で乳児死亡ゼロ年は36回を数えます。特に56年以降平成23年までは、21年1人死亡したほかは連続してゼロが続き、今では乳児死亡ゼロは当然のことになりました。（平成17年以降は西和賀町の統計による）

今年も深澤晟雄の会に、皆様の温かい「支援」の指導をお願い申し上げます。

二〇一二年 元旦

特定非営利活動法人
深澤晟雄の会理事長 太田 祖電
ほか役員・事務局一同



イメージキャラができました

挿し絵画家の霜田さんの作品

深澤晟雄の会のイメージキャラクターができました。及川和男著「村長ありき」を文庫本として出版する際に改題した「『あきらめ』を『希望』に変えた男」の表紙イラストをイメージキャラに決めました。このイラストは昭和38年2月、豪雪突破冬期交通確保開通式でテープカットをする際に改題した「『あきらめ』を『希望』に変えた男」の表紙イラストをイメージキャラに決めました。このイラストは昭和38年2月、豪雪突破冬期交通確保開通式でテープカットをする際に改題した「『あきらめ』を『希望』に変えた男」の表紙イラストをイメージキャラに決めました。



とイメージキャラクター使用を快諾していただきました。早速、陸前高田での支援活動でのぼり旗やTシャツに採用して皆さんに親しまれました。

金一封に感謝

西和賀町沢内字太田

照井京子様

晟雄の心を永遠に

胸像に誓う ①

昭和40年深澤村長逝去年の晩秋、深澤晟雄氏業績顕彰会が結成され、同級生の小田島常定氏が会長となつて深澤村長胸像建立に立ち上がった。その趣意書は4千字近い長文だが、「晟雄の心を永遠に胸像に誓う」と題して5回の連載で紹介する。(中見出しと原文の難解な漢字・表現は編集者で加筆)



沢内も秋の錦を名残りに万山の落葉へ、そして白雪の冬を迎えようとしています。村民の皆様には、いよいよご健勝にて、より良い郷土建設の為日夜ご精進のこと衷心慶福申し上げます。さて、私達六千村民の敬愛を集めた前村長深澤晟雄氏が物故されてから、すでに一年になろうとしております。今回私達が

相寄り相会して故人の業績と労苦をしのび、この十年間における本村の画期的発展を永く記念する意味で同氏の業績顕彰碑を建立することができたならと言うことになり、誠に僣越(せんえつ)に存じながら、皆様のお手元に本趣意書をお届けすることに致しました。とくとご吟味ください。ご賛成賜るようお願い申し上げます。

豪雪と生活格差の宿命感脱皮めざす

故深澤晟雄氏の本村行政史上に遺された業績につきましては、今更説明するまでもなく皆様の熟知されるところでございますが、その一つは、自然の暴威とい

う宿命の鉄鎖(てつさ)を断ち切つて、沢内を解放し冬期の交通を確保したということだと思ひます。元来、本村は自然的条件である位置偏在、海抜、気温の寒冷と多雪等から過

茅ぶき屋根の雪下ろしは危険で重労働だったが、雪国の宿命としてあきらめていた。



去幾十年、幾百年山峡の豪雪地帯として、交通の隔絶、産業の萎縮、経済の不振等、それから来る村民生活の低水準、村民性に根ざす劣等感が沢内村の発展を大きく阻(はば)んでおりました。

しかも、これらのことが自然的条件という名の下に宿命として甘受され、あきらめの境地が実情でありました。氏が昭和二十九年尊父の喪に遭い、帰郷されて最も大きな矛盾を感じたのは、他地域との生活格差の余りにも大きいことでありました。(つづく)

編集余録

「幸福の国・ブータン」から新婚の国王夫妻が来日したことは、震災復興に立ち上がる日本国民に大

いなる勇氣と希望を与えた▼中でも、同国政府が提唱する国民総幸福量(GNH)の考え方が注目された。GNHは、金銭的で物欲的な豊かさを示す国民総生産(GNP)に対し、精神的な豊かさを求めて国民の幸福をめざしたものである▼それで思い起こすのは「物だねあつての命ではなく、命あつての物だねでなければならぬ。物が命より大事だ」という考え方は極めて危険と言つた深澤晟雄の言葉である▼昭和40年の年頭にIBCラジオから流れたこの言葉を最後に1月28日没した。新年は深澤精神との出会いの月。今年には幸福の国・ブータン国王のGNHとも解け合つて、趣も新たに格別な深澤精神との出会いとなった。(Y)